



新規オプション検査のご案内



緑内障の早期発見に「FDTスクリーナー」視野検査を受けてみませんか

近年、緑内障患者が増加しています。緑内障は眼圧によって視神経が圧迫され、視野や視力が障害される病気で、我が国の失明原因の第1位を占めています。日本緑内障学会の大規模調査（多治見スタディ）によると、日本人の40歳以上の5%（20人中1人の割合）が緑内障に罹患しているとの報告があります。

【症状】

初期には自覚症状に乏しく、視野が狭いと自覚してから眼科を受診しても、かなり症状が進行しているケースが多いと言われております。そのまま放置すると失明に至る怖い病気です。

【日本人に多い正常眼圧緑内障】

緑内障の特徴のひとつとして、眼圧の上昇による視神経の圧迫があげられますが、日本における緑内障患者の70%以上は眼圧が正常な正常眼圧緑内障と診断されています。

【早期発見にはFDTスクリーナーが有効】

従来の視野検査よりも早期から鋭敏に緑内障の視野異常を検出し、健診で行う眼底、眼圧検査に加えてFDTスクリーナーで視野検査を行うことにより、緑内障の早期発見率が格段に向上します。

【こんな方にお薦めします】

1. 40歳以上の方
2. 眼圧が高い(但し、正常眼圧緑内障の場合は上がらない)
3. 眼底検査で乳頭陥凹拡大を指摘されている
4. 強度の近視
5. 近親者に緑内障の方がいる
6. 最近ものが見えにくい



- ・検査は簡単
- ・片眼わずか45秒以内で終了します。

お問合せ：秋田県総合保健センター
電話 018-831-2013(人間ドック直通)